

■■■■■ A manager shows

IDEAL Business

若者達へ告ぐ。



for Businessperson

08. » P.20

Value Commerce Co., Ltd /
Yoichi Iizuka

人生で公私に疲り 不幸に遭遇した際、
あきらめずに冷静に努力し、絶対に
負けな...という信念を持つ事

飯塚洋一

09. » P.104

LOHAS HOLDINGS Co., Ltd /
Shunichiro Uchida

"失敗"は百害あって一利なし
"失敗"が学ぶことでなく"成功"が学ぶべきです。

内田 俊一郎

10. » P.42

ALIT Co., Ltd /
Toshiki Maeda

向いてる方にしか進んで
いけない。

でも、進みたい方に顔を
向けていれば、昨日より
少しでも、そちらに進んでる。

前田俊喜



経年変化することと、驚きを作りだすこと

たった4平米の小さなオフィス。

そこがアリト株式会社の出発点だった。

単に昔の話を聞いてみたかったわけじゃない。

出発点を見つめてもらった理由は他でもなく、

今日に至るまでの軌跡を知りたかったのだ。

変わったことや、変わらなかったことも。

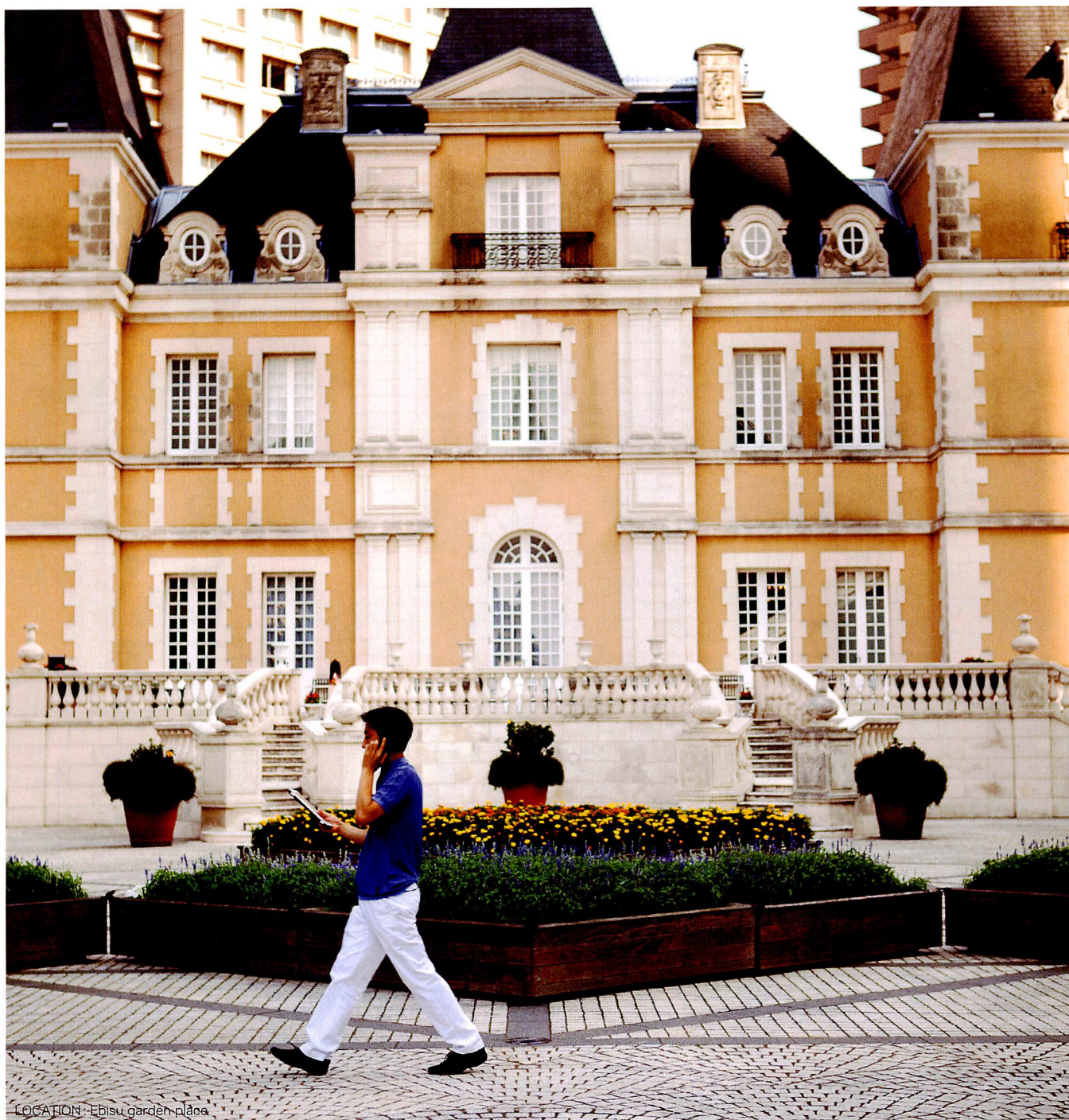
「経験しなくちゃわからないことってたくさんあるからね」。

前田俊喜氏は往時を振り返りながら言った。



■■■■■ アリト株式会社 代表取締役 前田 俊喜

[ソフトウェア製品の開発・販売]



LOCATION: Ebisu garden plaza

新しいモノやサービスを作るなら
驚きがあるべきだ

前田氏曰く「他の人がすでにやってしまっていることには興味がないよ。驚きは生まれないから」。言葉で言うのは簡単だが、現実はいつも思い通りにいくわけじゃない。それは当人が一番よくわかっている。だから苦しんだ時だっただけ。満足なんてしたこともないし、答えは今も探し続けている。

「僕はモノを売る人というより作る人なので、せめて自分が納得のいくものを作るこだわりは持っていたいよね。当たり前のことを当たり前のようにはやっても面白くないから」。世の中に驚きをプレゼントできるような会社を目指す同氏。

現在、アリト株式会社では2つの画期的なサービスを打ち出している。主軸事業のCBロボと新規事業のハイフーだ。この2つのソフトウェアの共通点は驚き、そしてサービス精神から成る利便性だ。「でも会社設立時から今の事業展開をしようと考えていたわけではないんですよ。偶然に面白いサービスが展開できることを知って始めただけなんです」。

創業の地は東京。当初、恵比寿ガーデンプレイスから程近いマンションの一室を間借りしてオフィスにしていたという。では、もう少し過去を遡って聞いてみよう。

色々なアイデアを活かしたくて
うずうずしてた

前田氏が生まれ育ったのは兵庫県明石市。

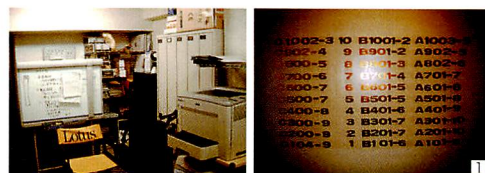
大事なところはブレないでいたいたとえ遠回りになるとしても



LOCATION: vila moderna



2



1

- 1 「オフィスは何階だったっけ？ もう忘れちゃったな」と前田氏。「でも面影はそのままだよ。ずっと古くからあるデザインオフィスだからね。」
- 2 当時の自分を思い浮かべているのだろうか。建物内を一人で熱心に見物しながら、時折立ち止まる姿も。
- 3 渋谷駅からも程近い場所にあり、利便性も良かったというデザインオフィス『ヴィラ・モデルナ』。



3



Photographer: Minami Takayuki

進みたい方向にちゃんと顔を向けないとカーブは曲がれないものなんです。

前田氏の趣味はバイク。休日のたびに走りに行くのだというサーキット場。「バイクで走ることは人生と似ていると思うんだ。コーナーを曲がるために重心をずらしてステップワークをする、自分で体を動かして自分できかけを作っていくと曲がれない。同じように人生も経営者も、他の誰かに委ねるものではなくて、自分で決断していくものでしょ」。

大学時代は工学部に在籍し、システムエンジニアとして初就職を果たしたのは大阪だった。下積み時代は、ただ無我夢中に仕事に没頭していたという。ソフトウェア開発の世界にどっぷりと浸かり、そこで得た経験やスキルはやがて大きな自信へと繋がっていった。2度の転職は、自分の作った製品で勝負がしたいという意思によって突き動かされたためだった。自身の拠点を東京に移すきっかけとなったのは1997年。TSUTAYA事業で知られるカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社に入社して2年目を迎えた春のことだった。本社事業開発部への異動が決まり、東京に移り住んだのはちょうどこの頃だが、自分が生み出した製品で挑戦したいという思いが強かった。でも一社員としては、アイデアを生み出すことはできても、それを自分の製品として実現するには多くの壁がある。

「企業に属しているとエンジニア職はお客様との接点はほとんどないし、自分の活動域はどうしたって狭まってしまう。それでね、自分の作った製品で勝負するのであれば独立するしかないなって考え始めたんです」。35歳の初めての起業だった。

自分の作った製品で勝負がしたい いつも一点の”思い”だけがあつた

とは言っても完全なゼロスタート。新製品リリースまでの資金確保のため、中古ビデオ販売業など、いくつかのバックアッププランも用意した。それでも設立から4年間は赤字が続いた。「当時はネット販売での

売上げが見込めた反面、そこに割く人員が足りていないのも実情でした。サイトへ商品をアップする作業をいかに効率化できるかが、社内的な課題の一つでもあったんです」。そこにヒントを見出した。「人件費を大幅に削減できるツール」はないだろうか。前田氏は考えた末、新たな開発に向け舵を切る。寝る間を惜しみ、何度もテスト試行を繰り返した。すぐに上手くいかないのは当然で、時間はあつという間に過ぎていった。

そしてついに、CBロボのリリースを迎える。自分の製品での新たな挑戦だった。徐々に売上げは好転し、黒字への転換も果たし、狙い通り、同製品のニーズは確かにあつた。設立時たった3名の社員数も増員。同氏はあくまで謙遜する。「当然一人の力では会社は成り立たないからね」と。

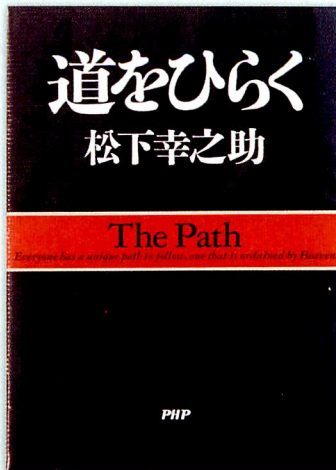
何でも社内や自分の力だけで できるとは思っていない

「僕はもともとエンジニアだし、営業力がないのは弱点とも言える。だから社内外問わず自分のブレインになってくれるような人達はずごく支えになってるよ」。プロとして通用しない分野に関しては柔軟に人の意見を聞く。それが前田氏の信条だ。でも意味を履き違えてはいけなく続ける。「人の意見を聞くのは、その人にやってもらおうとか甘えようっていうことではないから、あくまで自分のことは自分が責任を持って自分がまず頑張らないと」。



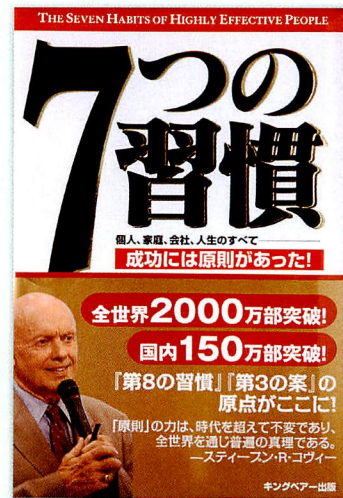
Toshiki Maeda

大学卒業後、関西日本電気ソフトウェア㈱で、メーカー系のSEとして5年間技術を学び、その後独立系のSlerを経て、1996年カルチュア・コンビニエンス・クラブ㈱に入社。35歳でアリト株式会社を設立し現在に至る。



リリーラピスラズリ(株)
古田島 智佳 推薦

現代へ読み継がれる驚異のロングセラー『道をひらく』。1968年の発刊以来、累計400万部を超える。本書は、松下幸之助氏が自身の経験と人生に対する深い洞察をもとに書いた短編随想集。老若男女、職種の人に役立つ、万世の座右の書である。
『道をひらく』(松下 幸之助 著、PHP 研究所 刊)



トーヨービバレッジ(株)
熊谷 聡 推薦

ビジネス書としてベストセラーを記録した一冊。スティーブン・コヴィー氏は、国際的に高い評価を受けているリーダーシップ研究の第一人者。人間らしい生活を営む道を示す。
『7つの習慣—成功には原則があった!』(スティーブン・R. コヴィー 著/ジェームス スキナー、川西 茂 訳、キングベアー出版 刊)



(株)ポジティブドリームパーソンズ
杉元 崇将 推薦

時を超えて際立つ存在であり続ける企業18社を選出、設立以来から現在に至るまでを徹底的に調査。ライバル会社と比較を検討、永續の源泉を「基本理念」にあると解明。
『ビジョナリー・カンパニー—時代を超える生存の原則』
(ジム・コリンズ、ジェリー・I. ポラス 著/山岡 洋一 訳、日経BP 社刊)



アイウェイズ(株)
遠山 功 推薦

個人の能力にレバレッジをかけるための最強ツール、それはパーソナルブランディング。構築のノウハウをわかりやすくまとめた必読本。
『パーソナルブランディング 最強のビジネスツール「自分ブランド」を作り出す』(ピーター・モントヤ、ティム・ヴァンディー 著/本田直之 訳、東洋経済新報社 刊)

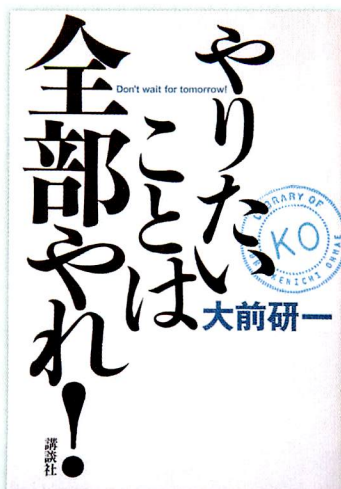
Life changing books

多くの経営者、事業家、成功者は多読であり、成功哲学も読んでいる。

ここで紹介する《人生を変えた本》は、第一線で活躍する経営者おすすめの一冊。

かのデカルト曰く「すべて良き書物を読むことは、過去の最も優れた人々と会話を交わすようなものである」。

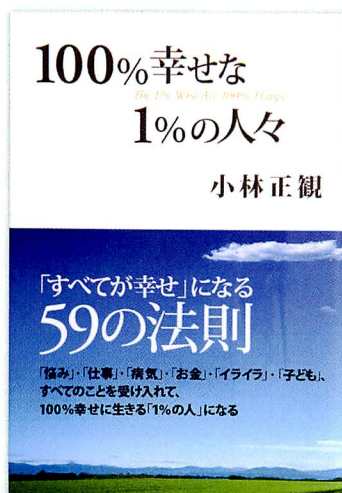
本との出会いで人生を一変させた経営者に倣って、さあ本を読もう。



(株)デー・ピー・シー
山名 登 推薦

毎日を楽しむための「大前流」自伝的人生論。「他人の人生ではなく、自分の人生を生きよう」と、オンでもオフでもマイペースを貫いてきた

著者が明かす、人生を愉しむための極意。
『やりたいことは全部やれ!』(大前 研一 著、講談社刊)



(株)プレシャス
青木 史枝 推薦

心理学博士・教育学博士・社会学博士として、人間の潜在能力や心学の研究などを行う小林正観氏。悩み、仕事、病気、お金、イライラ、

子供、すべてを受け入れて、100% 幸せに生きるための「59 の法則」を語る。

『100% 幸せな 1% の人々』(小林 正観 著、中経出版 刊)



(株)JCNT
山本 準 推薦

夢を見ることを忘れ、他人の痛みがわからない、小市民ばかりが乗り合わせたこの船は、どこへ……。時代を見つめ続けるジャーナリス

トである著者が、20 世紀後半を総括、21 世紀の生き方を指南した書き下ろし。

『翔べ黄金の翼に乗って』(落合 信彦 著、集英社 刊)

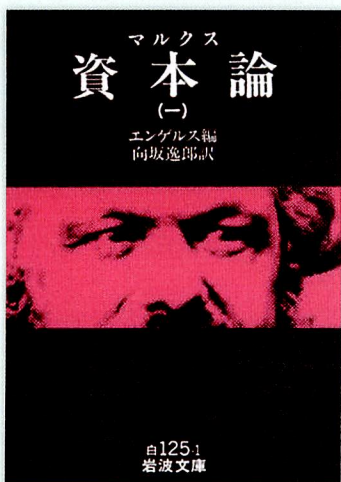


アリト(株)
前田 俊喜 推薦

戦車のプラモデルのために東西冷戦下のソ連大使館と直談判、車の模型を作ろうと実物のポルシェを解体した。その本気がタミヤを世

界一の模型メーカーに! 自らリング箱の上で模型の図面を描いた社長(現会長)が綴る奮戦記。

『田宮模型の仕事』(田宮 俊作 著、文藝春秋 刊)



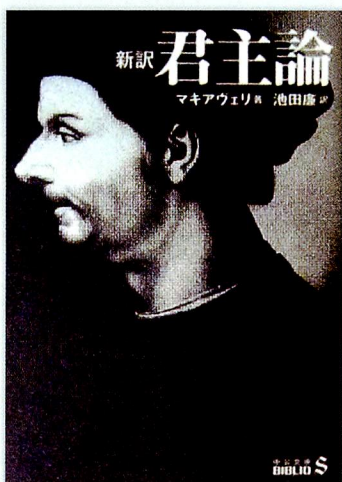
クオンタムリープ(株)
出井 伸之 推薦

19 世紀の半ばに出版されたが、現 21 世紀までに出版された中で全世界に最も影響を与えた本であると言えるだろう。この『資本論』は、

資本主義社会を理解するための必読書。

『資本論 (一)』

(マルクス 著/エンゲルス 編/向坂 逸郎 訳、岩波書店 刊)



(株)サンギ
佐久間 周治 推薦

中庸が最高の徳とされてきた中世イタリアで、上に立つ者の資性を根本から再考した、普遍的な論考。君主は善悪ではなく人間性を

見て、人の行動を予想、常に戦いに臨む姿勢であるべきと大胆に提言する。

『新訳 君主論』

(ニコロ マキアヴェリ 著/池田 廉 訳、中央公論新社刊)



9784907237455

ISBN978-4-907237-45-5
C0077 ¥952E



1920077009524

発行所：ギャップ・ジャパン
定価：本体 952 円 + 税

QUANTUM LEAPS Co.,Ltd / Nobuyuki Idei
Sangi Co.,Ltd / Shuji Sakuma
DPC Co.,Ltd / Noboru Yamana
Toyobeverage Co.,Ltd / Satoshi Kumagai
TKP Co.,Ltd / Takateru Kawano
JCNT Co.,Ltd / Jun Yamamoto
Positive dream persons Inc. / Takamasa Sugimoto
Hishiki-unso Inc. / Hirokazu Hishiki

IDEAL Business

Value Commerce Co.,Ltd / Yoichi Iizuka
LOHAS HOLDINGS Co.,Ltd / Shunichiro Uchida
ALIT Co.,Ltd / Toshiki Maeda
Precious Co.,Ltd / Fumie Aoki
Earth Light Co.,Ltd / Takashi Okamoto
Bijin-tokei Inc. / Shinya Tanaka
i-ways Co.,Ltd / Isao Tooyama
KINOTROPE Inc. / Masahiro Ikuta
Lily Lapis Lazli Co.,Ltd / Chika Kotajima